

授業科目 がん看護学実習Ⅲ	科目概要・形式 4単位 180時間 実習科目	配当年次 博士前期2年次 通年開講	オンライン参加 可・ <input type="checkbox"/> 不可 「下記6, 7参照」
科目責任者	鳴井 ひろみ		
担当者	鳴井 ひろみ、本間 ともみ、竹内 可愛 (非常勤)、菅野 綾子 (非常勤)、 山下 慈 (非常勤)、山田 真奈美 (非常勤)、越後 優子 (非常勤)、川村 陽子 (非常勤)		
1. 科目のねらい・目標 <ねらい> 複雑で対応困難な問題をもつがん患者・家族を受け持ち、ケアとキュアの統合による高度な看護学の知識や理論をもとに包括的、個別的な視点からアセスメントし、エビデンスに基づいた高度な質の高い看護ケアを提供する。さらに看護スタッフへの教育、相談、多職種との連携・調整、倫理的調整、臨床看護研究の指導を行い、高度実践看護師としての能力を修得する。また、在宅療養に移行するがん患者・家族に対する地域連携の理解をもとに、医療施設から地域への円滑な連携を実現し、地域包括ケアのあり方、ネットワークづくりをするための高度実践看護師としての役割を探究する。 <目標> 1) がん看護学実習Ⅰ～Ⅱで修得した知識・技術および高度実践看護師として果たすべき役割機能に対する学びを統合し、高度実践看護師の役割(実践・相談・調整・倫理的調整・教育・研究)について計画を立案し、実施できる。 2) 高度実践看護師の役割についての実践を評価し、改善策を検討することができる。 3) 在宅療養への移行に必要な教育・支援および、社会資源の活用を考えることができる。 4) 実習施設の特徴を考慮し、地域連携の視点から変化する保健医療システムの中での高度実践看護師としての役割開発について考察できる。 5) 高度実践看護師の役割についての実践を通して、高度実践看護師の役割機能について分析・評価し、自己の課題について明らかにできる。			
2. 授業計画・内容 <実習内容> 1) 複雑で対応困難な問題をもつがん患者・家族を受け持ち、これまでの学びをもとにケアとキュアを統合した専門的知識・技術を用いて、個別的なケア計画を立案し、エビデンスに基づく高度な直接ケアを実践する。 2) がん患者・家族の倫理的葛藤場面において、倫理的調整を実施する。 3) 対応困難な患者・家族に関わる看護スタッフへのコンサルテーションを実施する。 4) チーム医療の一員として、多職種と連携・協働した看護実践を行い、患者・家族・スタッフ間の調整を行う。 5) がん患者・家族への看護の質の向上を図るための院内教育や臨床看護師への教育活動を実施する。 6) 実践の場における看護研究の指導を行う。 7) 受け持ち患者への実践を通して、療養上の問題を抱えながら退院するがん患者・家族の退院調整および医療施設から地域への円滑な移行を行う上での地域医療連携の実際から、多職種との連携・協働のあり方を検討する。 8) 地域の他機関や多職種との連携の実際についての学びをもとに、実習施設の特徴をふまえて、地域の医療・福祉の資源を活用した円滑な移行を行うためのチーム医療において高度実践看護師に求められる役割を考察しレポートにまとめる。 9) 上記1)～8)を通して、高度実践看護師としての役割を開発する。 10) 高度実践看護師の役割についての実践を通して、高度実践看護師の役割機能についてレポートにまとめる。			

<実習場所>

岩手医科大学附属病院、青森県立中央病院、八戸市立市民病院

<実習指導体制>

- 1) 教員は実習指導者（がん看護専門看護師）と連携して、実習記録およびケースカンファレンス内容について指導する。
- 2) 教員は、施設の実習調整担当者、実習病棟看護責任者、実習指導者（がん看護専門看護師）と連携し、学生の教育環境を調整する。
- 3) 実習指導者（がん看護専門看護師）は、高度実践看護師の役割（実践・相談・調整・倫理的調整・教育・研究）を視野に入れながら、複雑で対応困難な問題をもつがん患者・家族に対する高度な看護実践を行う上での介入計画の立案・実施・評価について、指導および助言を行う。
- 4) 教員および実習指導者（がん看護専門看護師）は、多職種と連携し、受け持ち患者の事例分析およびケースカンファレンス、高度実践看護師の役割を開発するための介入計画の内容をスーパーバイズする。

3. 教科書、参考書

指定しない。実習状況によって随時、提示する。学内での既習事項を各自で効果的に活用すること。

4. 成績評価方法

実践（65%）、実習への取り組み状況（5%）、地域連携における高度実践看護師の役割に関するケースレポートおよび高度実践看護師の役割（実践・相談・調整・倫理的調整・教育・研究）に関する実践・分析・評価に関するレポート（30%）、を総合して評価する。

5. 受講要件

CNS（専門看護師）コースがん看護の学生は必修

6. 社会人学生に対する配慮

個別指導については日時およびオンライン対応等の相談に応じる。

7. その他

- ・既習事項を活用して事前学習を十分に行い、主体的に実習に臨むこと。
- ・カンファレンスや個別指導は状況に応じてWebex meeting またはZoom を用いてオンラインで実施する。
- ・オンデマンドの実施不可